

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		152-01-01		
事務事業名		水道料金徴収事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)	
				連絡先			内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用		
	施策	5	上下水道		項	営業費用		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	業務費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	上水道利用者						
	目的 (どうしたいか)	水道事業の経営安定化のための適正な水道料金の算定及び収納						
	手段 (事業内容)	水道メーターの検針から料金徴収までの事務委託						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 水道料金等関連業務委託料72,600千円、水道料金等管理システム電算機器賃借料6,961千円、水道料金等管理システム変更業務委託料968千円、コンビニ収納手数料3,433千円、口座振替手数料995千円、納入通知書等送付料4,619千円 【特定財源】 下水道使用料徴収事務費66,219千円
当初予算額	事業費	95,349	95,425	95,395	
決算額	事業費	95,221	93,678	—	
	特定財源等	64,950	66,219	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	調定額	単位	千円
指標の説明	水道使用料調定額		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1,961,092	1,959,060	1,955,100
実績	1,938,905	1,799,246	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	最終収納率	単位	%
指標の説明	収納額/調定額×100		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100
実績	99	99	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 人口減少や節水意識の高まりから水需要が減少傾向にある中、水道事業収益の大部分は水道料金であることから、本業務は経営安定化のためにも根幹をなすものである。 本業務における収納率は極めて高い水準であると言えるが、今後も負担の公平性を欠くことのないよう、今後も民間活力で継続すべきものであると考える。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 今後、他市と共同発注を行うことで、事業費の見直しや効率化を図っていくものとする。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		152-01-02		
事務事業名		水道メーター管理事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)	
				連絡先			内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用		
	施策	5	上下水道		項	営業費用		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	業務費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	水道メーター(量水器)						
	目的 (どうしたいか)	適正な料金算定のために必要な水道メーター(量水器)の購入・管理						
	手段 (事業内容)	計量法の検定期間満了に伴うメーター(量水器)取替・新設個数の把握・購入及び入・出庫管理						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 量水器取替費14,866千円 量水器購入費1,144千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	30,968	27,330	32,328	
決算額	事業費	18,646	16,010	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	水道メーター(量水器)取替・新設個数	単位	個
指標の説明	検定期間満了に伴う取替個数+新設個数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	7,510	6,716	7,627
実績	7,431	6,591	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	検定期間満了に伴う取替率	単位	%
指標の説明	検定期間満了メーター取替数/検定期間満了メーター数×100		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 本市では、水道メーター(量水器)の計量法検定期間満了超過防止等を目的に計画的な取替を実施しており、適正な執行・管理状況であるとする。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 今後、他市と共同発注を行うことで、事業費の見直しや効率化を図っていくものとする。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		152-02-01	
事務事業名		人事管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用	
	施策	5	上下水道		項	営業費用	
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	水道局在籍・過去在籍職員(正職員・再任用職員・非常勤職員・嘱託員含む)					
	目的 (どうしたいか)	適正な労務管理					
	手段 (事業内容)	給与・人事関連の管理、安全衛生委員会の運営					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 給与計算事務負担金71千円	
当初予算額	事業費	172	72	71		
決算額	事業費	54	71	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	給料処理件数	単位	件
指標の説明	年間給料処理件数(正職員+再任用職員+非常勤職員+嘱託員)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	487	495	420
実績	487	442	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	人事管理事務において適正に処理した率		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 公平・公正・中立性が確保された適正な事務の執行・管理状況であると考えられる。	今後の改善内容 (令和3年度以後の事業実施への改善内容) 今後、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考ええる。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード	152-02-02
事務事業名		入札・契約事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)
				連絡先		内線5020
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用
	施策	5	上下水道		項	営業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	入札・契約事務				
	目的 (どうしたいか)	公平・公正な入札、適正な契約事務の執行				
	手段 (事業内容)	工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務				

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 契約工事検査事務負担金 18,343千円 電子入札システム負担金 1,711千円 職責認証用電子証明書購入33千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	21,180	22,605	21,266	
決算額	事業費	20,443	20,087	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	水道局で行った入札件数	単位	件	
指標の説明	水道局で行った入札件数(見積徴収含む)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標(見込)	97	105	88	
実績	105	88	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	契約件数	単位	件	
指標の説明	1年間で行った契約件数			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標(見込)	172	171	153	
実績	171	153	—	

個別評価		現状維持	
今後の改善内容		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。	

総合評価		現状維持	
(担当部局による総合評価の理由や課題) 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられる。			

個別評価		現状維持	
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価		現状維持	
(担当部局による総合評価の理由や課題) 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられる。			

今後の改善内容		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。	
---------	--	--	--

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		152-02-03		
事務事業名		出納・会計事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)	
				連絡先			内線5012	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用		
	施策	5	上下水道		項	営業費用		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	水道事業会計						
	目的 (どうしたいか)	予算を調製し適切な執行管理を行い、決算を調製し経営状況を明らかにすることにより、効率的かつ健全な企業経営を行う。						
	手段 (事業内容)	水道事業に係る取引について支払伝票等会計伝票を適正に発行し、会計帳簿を備え、損益計算書・貸借対照表等の財務諸表を作成する。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 会計システム使用料1,246千円 会計システム保守委託料651千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	1,830	1,841	1,975	
決算額	事業費	1,836	1,897	－	
	特定 財源等	0	0	－	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	会計伝票処理件数	単位	件	
指標の説明	収入、支払、振替各伝票処理件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		4,000	4,000	3,700
実績		4,142	3,771	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正処理率	単位	%	
指標の説明	会計伝票を適正に処理した割合			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		100	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 現在、会計システムを活用し、最小限の人員にて効率的で正確かつ迅速に会計事務を行うとともに、公金の適正な管理などを行っている。 今後も、適正な予算執行管理と効率的な財務諸表の作成などを行い、これまで同様、水道事業を健全に経営していけるよう、適切に取り組んでいく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		152-02-04	
事務事業名		広報事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用	
	施策	5	上下水道		項	営業費用	
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・市内事業所・上水道利用者					
	目的 (どうしたいか)	水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。					
	手段 (事業内容)	広報紙やホームページへの記事の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 広告料171千円 (見学用パンフレット印刷製本) ウェブ関係108千円 (ウェブ保守及び新規ページ作成・サーバーレンタル) 【特定財源】
当初予算額	事業費	2,870	2,492	2,494	
	事業費	2,366	279	—	
決算額	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市民等への周知回数	単位	回	
指標の説明	市広報紙掲載回数+水道局ホームページ更新回数+見学会等イベント開催回数+ボトルドウォーター配布回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		97	85	48
実績		85	36	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	広報内容種別数	単位	種	
指標の説明	市民等へ周知した広報内容種別数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		40	39	40
実績		39	40	—

事業の参考数値等	
R2	ボトルドウォーター生産本数 0本(500ml) 見学会回数・参加人数 0回・ 0人

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 広報紙の記事掲載やウェブサイトの改訂等により一定の成果はあると考える。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 今後は将来的な水道料金の改定も見据え、利用者アンケートの実施や、水道事業の経営状況等を積極的に広報紙やホームページへ掲載するなどの改善が必要と考える。 SDGsを推進するため、ボトルドウォーターは従来のペットボトルをアルミ缶に変更し、プラスチックごみの削減を行っていく。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード	152-03-02
事務事業名		財政・資金計画管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
				連絡先	内線5012
担当部署名		水道局総務課		会計	水道事業会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	款	事業費用
	施策	5	上下水道	項	営業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化	目	総係費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	水道事業経営			
	目的 (どうしたいか)	健全かつ安定的な企業経営を行う。			
	手段 (事業内容)	水需要予測や施設・管路更新計画等、収入・支出を詳細に検討し、財政・資金計画の進行管理を行う。			

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 ・人件費のみ ※原則は職員の人件費のみであるが、計画の改定等により委託料が必要となる場合がある。(令和3年度は委託料の予算を計上している。) 【特定財源】
当初予算額	事業費	0	0	4,982	
決算額	事業費	0	0	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	計画更新・管理事務日数	単位	日
指標の説明	計画の更新および進行管理事務を行った日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	15	40	64
実績	40	42	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	計画更新・管理事務達成率	単位	%
指標の説明	計画の更新および進行管理事務の達成率		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本市水道事業は、今後も給水人口の減少が見込まれる中、各種施設や設備が更新・修繕時期を迎えるなど、将来的には厳しい経営収支見通しとなっている。 このような状況下、平成30年度からは第6次水道施設整備事業を開始しているが、事業の進捗状況から企業債の借入時期・金額の見直しを行った。今後も引き続き財務諸表等を分析し、経営状況を適切に判断しながら、健全かつ安定的で持続可能な企業経営を行っていく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)